



業務案内 2025

兵庫の社会基盤整備を総合的に支援します



公益財団法人 兵庫県まちづくり技術センター
Hyogo Construction Technology Center for Regional Development

ごあいさつ

兵庫県まちづくり技術センターは、高度な技術力を有する公益財団法人として「建設事業支援」「上下水道支援」「まちづくり支援」「埋蔵文化財調査」の4つの分野に「技術者育成」を加えた5つを柱とし、建設技術の向上と効率的な社会基盤の整備・管理を推進するとともに、開発に伴う文化財調査・保存等に取り組んでいます。

センターでは、「躍動する兵庫」の実現に向けた兵庫県・市町のインフラ整備を支えるため、「安全・安心の確保」「活力あふれる地域づくり」「技術者の育成」の視点から、中・長期戦略「Vision2025」及び「DX推進計画」に基づく様々な支援活動を展開してまいります。

「安全・安心の確保」では、大規模・特殊工事や建築・設備工事等の設計・積算・工事監理等を支援します。特に市町に対しては、「地域一括発注」による橋梁点検、長寿命化修繕計画策定、「ひょうご橋守隊」による経過観察、修繕工事の設計・積算・工事監理等の支援を総合的に展開します。また、大規模災害時には、市町災害復旧支援制度(D-SUPPORT)により被災直後の初動対応から早期復旧に向けた取り組みを支援します。

「活力あふれる地域づくり」では、土地区画整理事業、住民主体のまちづくり等への支援を行うとともに、県流域下水道施設の維持管理・更新事業及び市町公共下水道施設の建設・改築事業に加え、市町上水道施設の改築・統廃合を支援します。また、埋蔵文化財調査において、3Dスキャナを活用したデジタル化等を推進し、発掘調査や出土品整理業務の効率化に取り組みます。

「技術者の育成」では、実務に即した演習・実習を積極的に導入した幅広い研修カリキュラムを提供するとともに、受講手続きをオンラインで一元化できる「研修管理システム」の導入やAIを活用したワンストップ相談窓口の開設などデジタル技術を積極的に活用して、県・市町職員の技術力向上を支援します。

今年は北但大震災から100年、阪神・淡路大震災から30年の節目の年にあたり、県内では様々な催しが行われる中、来年4月には「センター設立30周年」を迎えます。今後とも、県・市町の皆様から信頼され、期待に応えられるセンターを目指し、役職員一丸となって邁進してまいります。引き続き、ご支援・ご指導を賜りますとともに、積極的にご活用いただきますようお願い申し上げます。

令和7年4月

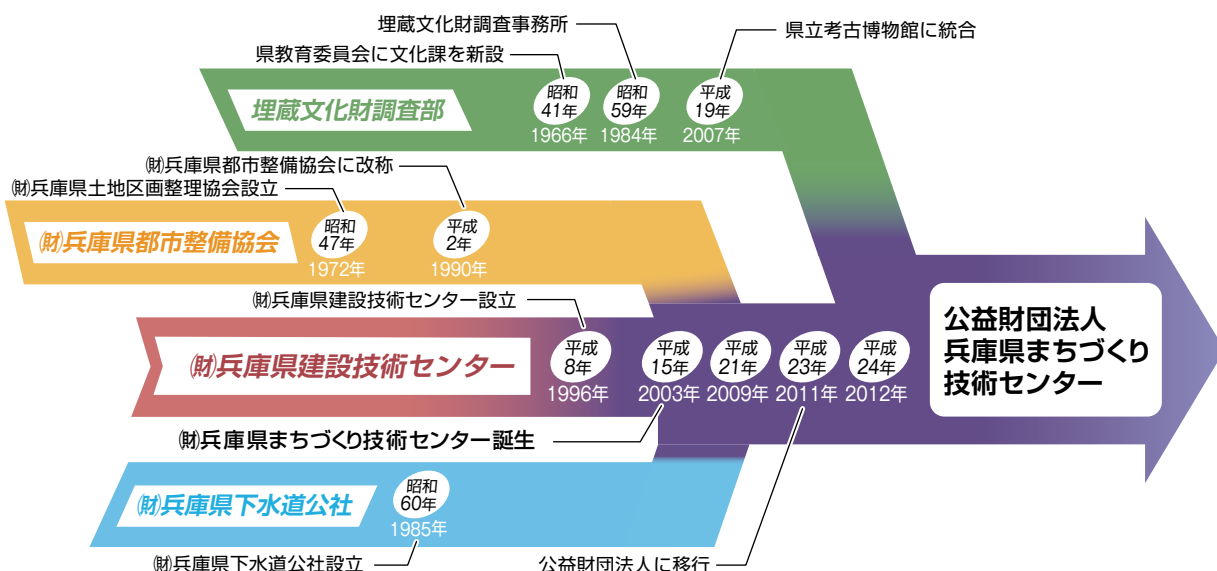
理事長 上田 浩嗣

■ 設立目的

兵庫県及び県内の市町の建設技術の向上と公共事業の効率的な推進を図るとともに、土地区画整理事業、まちづくり活動等の支援、流域下水道事業及び流域下水汚泥処理事業に係る維持管理等を行うことにより、より質の高い社会基盤づくり及びまちづくり並びに生活環境の改善及び公共用水域の水質の保全に寄与することを目的とする。

■ 基本財産：5億5,700万円 ■ 設立年月日：平成8年4月1日 ■ 出捐者：兵庫県及び県内29市12町(県内全市町)

■ 組織の沿革



兵庫の社会基盤整備を総合的に支援します



～ 効率的な社会基盤の整備・管理、開発と文化財保存の調和を実現 ～

建設事業支援

▶ P05-08

- 大規模・特殊工事、営繕工事等の設計・積算・工事監理
- インフラ老朽化対策
- 防災・減災対策、災害復旧工事

上下水道支援

▶ P09-10

- 流域下水道・流域下水污泥処理施設の維持管理
- 公共下水道施設の建設等の支援、下水道知識の普及啓発
- 下水道排水設備工事責任技術者資格試験
- 水道施設の改築・統廃合支援

まちづくり支援

▶ P11-13

- 都市計画及び土地区画整理事業の調査・計画
- 住民主体のまちづくりへの専門家派遣
- 修景助成、専門家派遣、景観形成等活動助成

埋蔵文化財調査

▶ P14-15

- 開発に伴う発掘調査
- 出土品整理
- 埋蔵文化財の公開と活用

技術者育成

▶ P16-18

- 技術情報の管理・提供、新技術の導入
- 災害時支援活動、災害緊急現場支援技術者講習
- 技術公務員の階層別・専門分野別研修等

■ 評議員名簿 (令和7年5月7日現在)

神戸市副市長	今西 正男
尼崎市副市長	塚本 英徳
加古川市副市長	中田 直文
赤穂市副市長	溝田 康人
たつの市副市長	田中 徳光
南あわじ市副市長	喜田 憲和
洲本市副市長	浜辺 学
兵庫県土木部次長	大谷 浩司
兵庫県土木部次長	家永 薫
一般社団法人兵庫県建設業協会 専務理事	山田 聖一
兵庫県下水道協会事務局長	青山 満
流通科学大学名誉教授	森津 秀夫
一般財団法人建設工学研究所(神戸大学名誉教授)	藤田 一郎

■ 役職員数 (令和7年4月1日現在)

区分	職員	兵庫県職員	市職員	土地開発公社	技術専門員等	事務嘱託等	計(人)
役員	4	1	0	0	0	0	5
総務部	4	11	0	0	2	9	26
企画部	4	6	0	0	3	6	19
建設技術部	6	11	1	0	12	6	36
上下水道事業部	10	3	2	0	6	2	23
まちづくり推進部	8	3	1	0	5	7	24
埋蔵文化財調査部	0	11	0	0	2	38	51
事務所	12	8	0	1	29	6	56
管理事務所	16	6	7	0	11	10	50
計(人)	64	60	11	1	70	84	290

■ 職員の技術資格一覧 (令和7年4月1日現在)

資格種別	人数
技術士(総合技術監理部門)	3
技術士(建設部門)	12
技術士(上下水道部門)	5
技術士補	19
1級土木施工管理技士	51
2級土木施工管理技士	7
公共工事品質確保技術者Ⅰ	11
公共工事品質確保技術者Ⅱ	2
1級構造物診断士	1
コンクリート診断士	7
コンクリート主任技士	4
コンクリート技士	10
道路橋点検士	15
道路橋点検士補	1
土地区画整理士	19
1級建築士	10
2級建築士	1
1級建築施工管理技士	2
1級造園施工管理技士	6
2級造園施工管理技士	2
1級電気施工管理技士	1
2級電気施工管理技士	1

■ 役員名簿 (令和7年5月7日現在)

理事長	上田 浩嗣
常務理事	長田 二郎
〃	名倉 嗣朗
〃	達可 明朗
理事(姫路市副市長)	井上 泰利
〃(西宮市副市長)	北田 正広
〃(福崎町副町長)	近藤 博之
〃(名古屋大学減災連携研究センター 准教授)	平山 修久
〃(神戸大学大学院工学研究科 教授)	鍛田 泰子
監事	寺尾 俊弘
〃(多可町副町長)	藤原 正和

■ 技術顧問 (令和7年4月1日現在)(50音順)

氏名	職名	専門分野
朝倉 俊弘	(特非)トンネル工学研究会理事長 (京都大学名誉教授)	トンネル工学、岩盤工学
宇高 雄志	兵庫県立大学教授 環境人間学部教授	建築学
加賀有津子	大阪大学大学院工学研究科 ビジネスエンジニアリング専攻教授	都市・地域デザイン、 まちづくり、空間情報学
小林 潔司	京都大学経営管理大学院 特任教授(京都大学名誉教授)	計画マネジメント
澁谷 啓	(一財)建設工学研究所代表理事 (神戸大学名誉教授)	地盤工学、減災工学、 維持管理工学
平山 修久	名古屋大学減災連携研究センター 准教授	災害環境工学、 環境工学、衛生工学
森川 英典	神戸大学名誉教授	アセットマネジメント、 コンクリート工学

1. 公共土木工事、建築・設備工事の設計・積算・工事監理等

県・市町が実施する公共土木工事、建築・設備工事について、計画、設計、積算、工事監理、工事検査まで全般にわたる支援を行い、これらの業務により、構造物の品質確保、コスト縮減を図り土木行政事務の効率化にも寄与します。

【 建築工事の委託条件 】

- 小規模（トイレ改修工事、体育館耐震診断など）の建築一式工事（新築・改修）が対象です。設計から工事監理までを一貫して委託していただくことを基本としています。（原則として、「工事監理業務のみ」等での受託は行っていません。）
- 工事内容等により、工事監理業務に代えて、工事監理支援業務を提案させていただくことがあります。（設計事務所等が建築士法上の工事監理を行い、センターは、発注者の監督員が行う段階確認や各種検査等の支援を行います。）

1 | 設計支援業務

最新の技術情報と豊富な経験を活用し、設計コンサルタント等への適切な指導・助言を行います。綿密な設計協議を通じて、設計委託成果品の確認を含む工事の計画・設計を支援します。あわせて、仕様書や設計書等の契約関連書類の作成についても助言します。

建築工事においては、設計業務委託の発注に関する相談にも応じます。

2 | 積算業務

中立かつ公平、公正を基本に、関係法令を遵守し、兵庫県土木工事標準積算基準書、公共建築工事積算基準や市町の規定に基づき、守秘性を確保して、適正な工事価格を積算します。

※積算条件は発注者から指定していただきます。

3 | 工事監理業務

発注者の補助者として、関係法令・規定に基づく適切な工事監理を遂行し、良質な社会基盤施設を安全かつ工期内に完成させます。工事内容の変更に伴う設計・積算業務を実施します。

また、会計検査院の実地検査時には、発注者への技術的なサポートも行います。

4 | 総合評価技術支援業務

多種多様な技術提案の評価など、発注者の大きな負担となっている総合評価落札方式において、

- ① 評価項目
- ② 評価基準
- ③ 技術提案の評価

について整理及び提案を行い、発注者を支援します。

5 | 建設工事支援検査業務

センターの支援検査員が、検査員・監督員・工事受注者の立会のもと、工事監理未受託案件の検査支援を実施します。設計図書との整合性、出来形・品質の確認、工事成績の参考評価を通じて、公平な評価と適切な品質確保を図ります。

6 | 公共建築工事の包括的支援業務【新規】

建築・電気・機械の専門技術者の派遣や、技術的根拠に基づいた助言など、市町の技術的課題に応じた支援を提供します。工事案件に縛られない年間契約（事後精算制）を導入し、事業着手準備段階から柔軟な支援体制を整え、実態に即した支援を行います。

防災・減災、災害復旧工事を優先して支援します

① 防災・減災対策工事の支援

水門・樋門整備、防潮堤沈下対策、橋梁耐震対策などの地震津波対策工事、洪水調整池整備などの総合的な治水対策工事、砂防堰堤などの土砂災害対策工事、護岸改修などの高潮対策工事、これら防災・減災に関わる工事については、積算・工事監理業務を優先して受託することにより、防災・減災への取り組みを支援します。

② 災害復旧工事への支援

頻発する風水害、土砂災害等からの一日も早い復旧・復興を支援するため、災害復旧工事の設計・積算・工事監理業務を支援します。



災害復旧工事（地すべり）

工事名 町道久谷桃観線道路災害復旧工事

委託者 新温泉土木事務所（新温泉町）
※道路法による市町道の工事代行

受託内容 査定設計書作成・実施設計書作成
工事監理

道路

工事名 (国)178号 浜坂道路Ⅱ期工事

委託者 新温泉土木事務所

受託内容 総合評価・積算・工事監理



橋梁(耐震補強)

工事名 (国)250号 加古川ループ橋耐震補強工事

委託者 加古川土木事務所

受託内容 積算・工事監理



河川

工事名 (二)東川水系津門川 地下貯留管他整備工事

委託者 西宮土木事務所

受託内容 設計支援・積算・工事監理



橋梁(新設)

工事名 (都)神吉中津線 橋梁工事

委託者 加古川市

受託内容 積算・工事監理



トンネル

工事名 (国)429号榎峠バイパス
榎峠トンネル(仮称)建設工事

委託者 丹波土木事務所

受託内容 設計支援・総合評価・積算・工事監理



営繕

工事名 こんだ薬師温泉「ぬくもりの郷」道の駅整備工事

委託者 丹波篠山市

受託内容 積算・工事監理



2. インフラ老朽化対策

市町が管理する橋梁、トンネル等の施設について、センターがPDCAサイクルによる「計画・補修・点検・見直し」を一貫して行うことで、効率的・効果的な維持管理を実現します。

Plan 長寿命化修繕計画

長寿命化修繕計画 策定業務

最新の点検データに基づき、将来の部材評価点※の予測、ライフサイクルコスト(LCC)の算出、補修の順位付け、事業費の平準化を行い、長寿命化とLCCの縮減を図る長寿命化修繕計画を策定します。

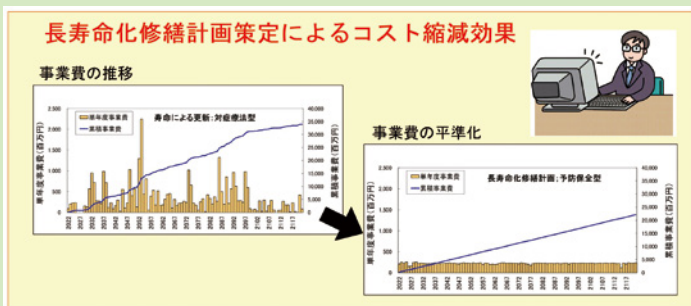
※橋梁の損傷状況を点数化したもの



学識意見聴取の状況



損傷状況を現場にて確認



事業費平準化のイメージ図

橋梁の 老朽化対策を 支援

橋梁の維持管理においては、継続的な橋梁点検、点検結果に基づく長寿命化修繕計画、計画に基づく修繕対策を行うマネジメントサイクルを構築し、ライフサイクルコストの縮減と適切な安全性の確保を図ることが重要です。センターでは、「市町橋梁マネジメントシステム」を核とし、各種支援メニューをご用意しております。

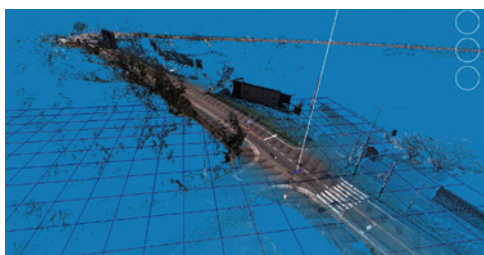
Act 改善・見直し

市町橋梁マネジメント システムの活用

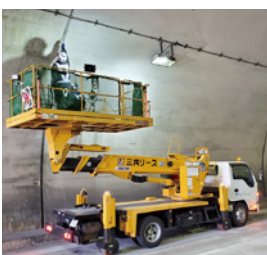
市町の管理橋梁に係る諸元情報、点検履歴、補修履歴等を「市町橋梁マネジメントシステム」に登録し、日常的な維持管理のためにデータを提供しています。また、登録されたデータを活用することで、橋梁カルテの作成や、長寿命化修繕計画の策定、市町職員が行う直営点検を支援しています。

その他のインフラ老朽化対策を支援

センターでは、橋梁のみならず、舗装やトンネルの点検も行っています。点検結果は「道路施設管理データベース」に登録され、市町のみなさまは自由にご覧いただけます。また、点検結果を活用し長寿命化修繕計画の策定を行うことで舗装及びトンネルの老朽化対策を支援しています。



取得した3次元データを活用した3Dモデルの例



トンネル点検状況

① 路面性状調査

路面性状測定車により調査しています。道路空間の3次元データが取得可能なシステムを用いて実施することも可能です。

② トンネル点検

高所作業車を使用してトンネル全般を近接目視により点検し、必要な箇所に対し打音検査を実施します。点検結果により把握された個々の変状について健全度ランクを判定した後、トンネル全線の健全性を診断します。

③ 舗装修繕計画策定業務、 トンネル個別施設計画策定業務

路面性状調査やトンネル点検の結果を基に、舗装修繕計画やトンネル個別施設計画を策定します。

Do 修繕対策

橋梁カルテ作成業務

橋梁の補修詳細設計に向けて想定される劣化要因や必要な調査補修方法等を取りまとめたカルテを作成します。



工事施工状況の確認

老朽化対策工事の設計、積算、工事監理業務

老朽化対策工事の設計、積算、工事監理等の事業全般にわたり支援します。



〈橋梁維持管理におけるPDCAによるマネジメントサイクル〉

長寿命化修繕計画策定業務

- 橋梁定期点検データを基に橋梁長寿命化修繕計画の策定を行います。
- 学識経験者に意見聴取します。

橋梁カルテ作成業務

積算業務

設計支援業務

工事監理業務

最新技術を活用し、維持補修等のアドバイスから工事監理まで支援します。

Plan

長寿命化修繕計画

データ活用

橋梁履歴データ

市町橋梁マネジメントシステム

データ分析

点検データ

Act

改善・見直し

Do

修繕対策

Check

橋梁点検

市町橋梁マネジメントシステムの活用

橋梁に関するデータを一元管理します。

道路橋定期点検（地域一括発注）業務

定期点検の一括発注を行います。

市町橋梁直営点検支援業務

点検担当職員の実務能力向上と点検作業の効率化を支援します。

「ひょうご橋守隊」による経過観察

深刻な損傷橋梁の経過観察を支援します。

Check 橋梁点検

道路橋定期点検（地域一括発注）業務

センターによる健全性の診断と橋梁点検車の貸出しにより、点検成果の品質確保とコスト縮減を図ります。



橋梁点検車による点検状況

「ひょうご橋守隊」による経過観察

深刻な損傷橋梁を補修するまでの間、橋梁の安全性および劣化の進行状況を確認します。対象橋梁は橋守隊の活動体制に合わせ実施します。



現場での経過観察状況

市町橋梁直営点検支援業務

直営点検を行う市町職員に「らくらく点検システム※」を搭載したタブレット端末を活用していただき、職員の技術力向上を支援します。

(A) 出前講座による点検要領の説明

(B) 点検成果の精査・健全度診断の助言

(C) 点検データの管理

※らくらく点検システム

橋梁点検を直営で実施する市町職員の点検作業の軽減に加え、技術力や点検精度の向上が図られるとともに、効率的なデータ管理が行えるシステムです。

【市町外業】



写真および損傷評価は現場で入力

【センター支援】



出前講座実施 マニュアル

インターネット

DB

「市町橋梁マネジメントシステム」に登録

電話連絡



現場点検の結果を確認・調整（作業軽減）

【市町内業】

点検結果を受けて診断支援・現場確認

【センター内業】



直営点検支援の状況

1. 流域下水道・流域下水汚泥処理施設の維持管理

1 流域下水道事業に係る維持管理

兵庫県では、昭和41年度以降、猪名川、武庫川(上流・下流)、加古川(上流・下流)及び揖保川の4流域6処理区で流域下水道事業を展開しています。センターでは、この維持管理業務を兵庫県から受託しており、令和5年度末現在、6処理区合計の処理人口は約191万人(県人口の3割以上)、年間約3億m³の下水の処理に関わっています。

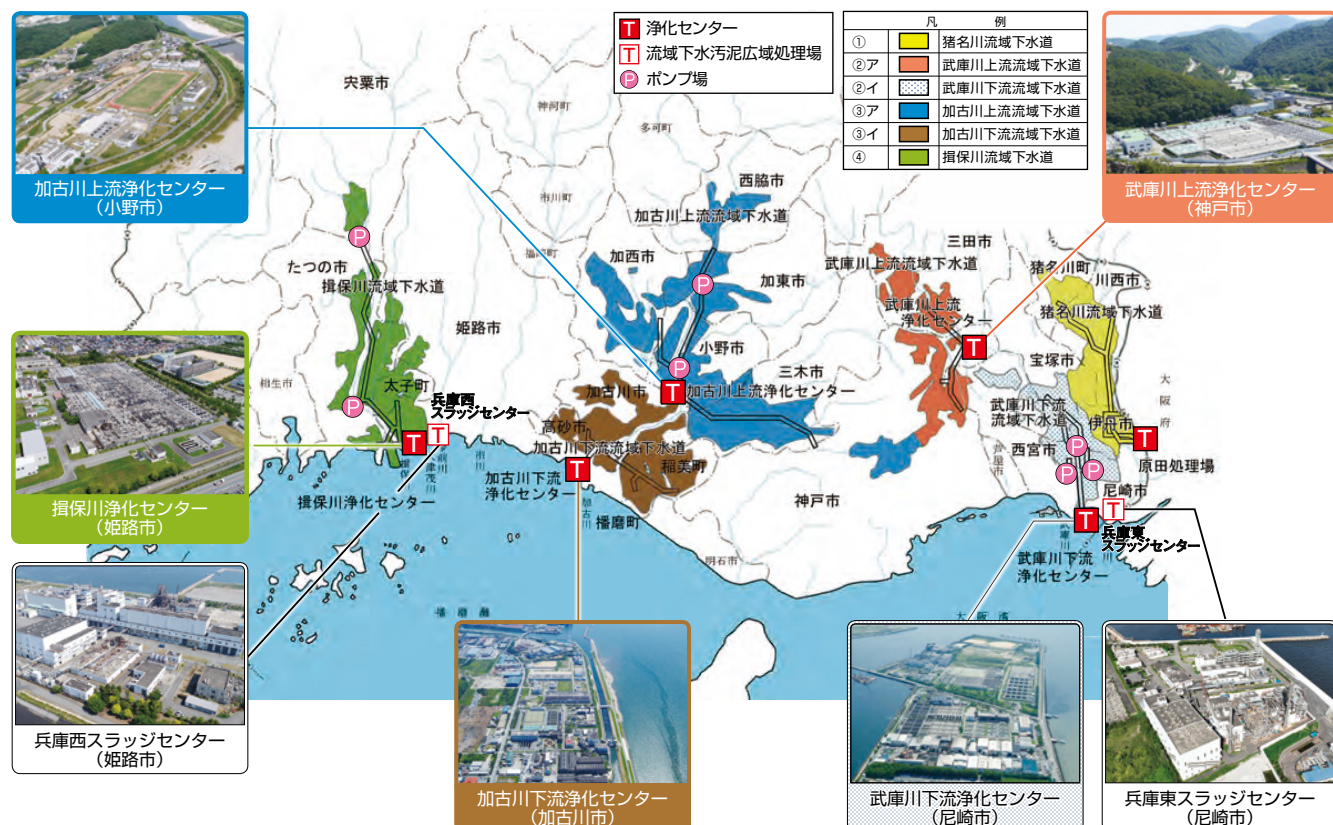
◆ 流域下水道事業の概要 (令和5年度末)

流域名	処理区名	関係市町	現況処理人口 (千人)	現況処理能力 (千m ³ /日)	管渠延長(km)
武庫川	上 流	神戸市、西宮市、三田市	189.4	100.0	16.3
	下 流	尼崎市、西宮市、伊丹市、宝塚市	612.7	357.0	33.8
加古川	上 流	神戸市、西脇市、三木市、小野市、加西市、加東市	248.9	108.0	46.3
	下 流	加古川市、高砂市、稲美町、播磨町	340.0	159.9	22.6
揖保川	揖保川	姫路市、宍粟市、たつの市、太子町	179.3	106.8	52.8
猪名川	原 田	尼崎市、伊丹市、宝塚市、川西市、猪名川町	343.5	190.8	34.1
合 計		17市4町	1,913.8	1,022.5	205.9

◆ 流域下水汚泥処理事業の概要 (令和5年度末)

流域名	関係市町	処理人口 (千人)	現況処理能力 脱水汚泥(t/日)	送泥管延長(km)
兵庫東	兵庫県(武庫川上流、下流)、尼崎市、西宮市、芦屋市	1,471.2	600	58.3
兵庫西	兵庫県(揖保川) 姫路市、たつの市、太子町	572.5	490	24.5
合 計	3流域下水道、5市1町	2,043.7	1,090	82.8

県内の流域下水道事業及び流域下水汚泥処理事業



2. 公共下水道施設の建設等の支援、下水道知識の普及啓発

1 公共下水道施設の建設・改築支援

① 建設支援

市町が実施する公共下水道建設事業の設計業務及び工事監理業務を受託し、建設を支援します。



工事名 管渠布設工事
(育波地区)

委託者 淡路市

受託内容 設計・積算・工事監理

② 改築支援

市町が実施する公共下水道施設の老朽化対策事業に対応するため、下水道ストックマネジメント計画の策定や機械・電気設備等の改築工事の設計業務および工事監理業務を受託し、計画的な改築を支援します。



工事名 浜坂浄化センター
汚泥脱水設備他
改築工事

委託者 新温泉町

受託内容 設計・積算・工事監理

2 生活排水処理の効率化の支援

① 統廃合等の支援

下水道、農業集落排水施設、浄化槽等の汚水処理施設の維持管理をより一層効率的に進めるため、処理場統廃合や汚水処理施設共同整備事業に係る計画策定・設計・工事監理業務等を受託し、生活排水の効率化を支援します。

② 維持管理の支援

市町が管理する各処理施設の水質検査業務を受託し、一括発注することに加えて、包括的民間委託の導入をサポートし、効率的な維持管理を支援します。

3 下水道知識の普及啓発

下水道の役割、効果等について広くPRするため、5箇所の浄化センターで施設見学会を開催します。

また、小学校における社会科授業の一環としての施設見学や中学生の「トライやる・ウィーク」の受け入れなども実施します。



水処理施設の見学

3. 下水道排水設備工事責任技術者資格試験

県内各市町との協定に基づき、下水道排水設備工事責任技術者の技術水準の維持・向上と市町事務の省力化を図るため、県内統一の責任技術者試験、受験講習及び更新講習を実施します。

令和7年度の試験・講習の実施予定

更新講習	令和7年 7月予定 (オンデマンド講習)
	令和8年 2月予定 (集合型講習)
受験講習	令和7年 10月予定 (オンデマンド講習)
試験	令和7年 10月予定

4. 水道施設の改築・統廃合支援

市町が実施する水道施設の老朽化対策事業に対応するため、改築・統廃合にかかる計画・設計への助言や水管橋点検への支援、また、積算・工事監理業務の受託など、計画的な改築・統廃合を支援します。

また、広域化の検討(市町を跨ぐ施設の統廃合や連絡管の整備など)において技術的な助言を行います。



工事名 甲山幹線(第5工区)
布設替工事

委託者 姫路市

受託内容 積算・工事監理

1. 都市計画及び土地区画整理事業の調査・計画

都市の健全な発展と秩序ある整備を推進するため、土地区画整理事業を中心とするまちづくりを支援します。

1 | まちづくりの立ち上げ支援

まちづくりの立ち上げに関する調査や計画についてアドバイスします。

また、「まちアップ支援事業」を活用して、勉強会や説明会の開催、事業推進のための調査を支援します。

2 | 都市計画への支援

都市の発展を計画的に誘導し、秩序ある健全な市街地を創造していくため、地区計画策定業務や都市再生整備計画策定業務などを受託します。

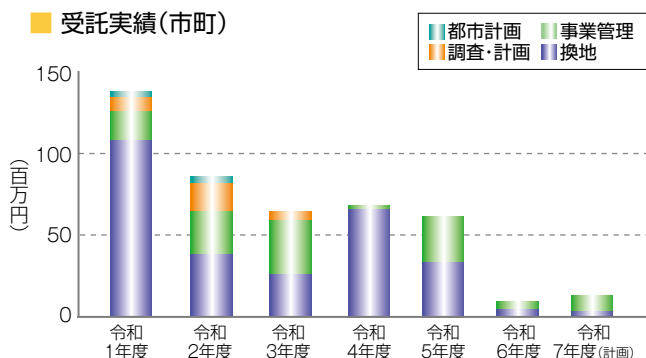
3 | 土地区画整理事業への支援

事業の実施に必要となる事業計画や実施計画書の作成、土地の権利変換を行う換地設計、換地計画及び換地処分等、各種調査設計や事業管理等土地区画整理事業全般の業務を市町・土地区画整理組合から受託します。

また、円滑な土地区画整理事業推進のため、市町及び組合等が行う説明会や、勉強会に出席し、住民の意向反映や合意形成を促進するとともに、県・市町の関係部局との協議調整を支援します。



土地区画整理事業により整備された街並み
(加西市西高室地区)



事業の流れ〈組合施行〉

調査・計画

地区周辺を含めた「まちの将来像」について、広い視点から検討を行います。

- 現地調査
- 前提条件の整理
- 整備課題の設定
- 基本構想の策定
- 地元勉強会

区画整理設計

地元や関係機関との協議を行い、事業計画案の検討作成を行います。

- 現況測量
- 施行地区の設定
- 区画整理設計
- 土地及び権利調査
- 都市計画決定
- 関係機関協議
- 公共施設用地編入申請
- 地元説明会
- 本同意収集
- 組合設立認可申請

組合設立

換地となる新しい土地の位置などを定めるため、換地設計の作成を行います。

- 地区界測量
- 街区確定測量
- 換地設計準備
- 換地設計

仮換地指定、移転・工事の実施

仮換地指定に基づいて、移転や工事を行います。

- 工事詳細設計
- 積算
- 工事
- 移転物件補償調査
- 移転
- 出来型確認測量
- 換地計画

換地処分

新しい地番の登記を行い、清算金の徴収交付の後、組合を解散します。

- 公共施設引継
- 区画整理登記
- 解散認可申請

組合解散

2. 住民主体のまちづくりへの専門家派遣

1 | まちアップ支援事業

住民主体のまちづくり推進のため、市町への技術支援を目的とする「まちアップ支援事業」を実施しています。

本事業は、市町が進める住民主体によるまちづくりや官民協働のまちづくりを支援するため、また都市計画や都市整備事業に関する相談、まちづくりに関するイベントや講演会、まちづくり教育の講師として、まちづくり専門家の派遣を行っています。

専門家派遣事業

アドバイザー派遣

まちづくり初動期に必要な課題の共有
や合意形成と地元の体制づくりを支援

コンサルタント派遣

まちづくりの方針検討や構想案、
計画案の作成準備と合意形成を支援

・センター設置の「まちづくり専門家バンク」登録専門家を派遣
・アドバイザー報酬(謝金・交通費)、コンサル委託料は規定の範囲内でセンターが負担

まちづくり専門家会議

まちづくり専門家の多様な取組みを知り、市町のまちづくりに活かす

※令和7年4月1日施行(改正)

① アドバイザー派遣

まちづくりの初動期に必要な課題の共有や合意形成と地元の体制づくりを支援します。

- まちづくりの取り組みを始めるためのアドバイス
- まちづくりの取り組みや検討プロセスのアドバイス
- ワークショップ等による課題の共有、まちづくりの方向性や将来像の検討
- まちづくりの方向性や将来像についての合意形成を支援
- その他都市計画やまちの整備事業に関する相談・勉強会等の講師

◆ 派遣対象

- ・住民等で構成される住民団体(自治会、まちづくり検討会、まちづくり協議会等)
- ・小中学校の課外授業
- ・官民協働のまちづくりを進めようとする市町

② コンサルタント派遣

まちづくりの方針検討や構想案、計画案の作成準備と合意形成を支援します。

- 地区の現況調査・課題調査、まちづくり方針の検討
- まちづくり構想案や計画案の作成準備
- まちづくりについての合意形成と市町への提案を支援

◆ 派遣対象

- ・まちづくり取り組む住民団体
- ・官民協働のまちづくりを進めようとする市町

③ まちづくり専門家会議

専門家派遣の活用をより適切でさらに充実したものにするため、専門家の講演と質疑応答・意見交換などを行います。

それぞれの専門家の支援実例と業務の特徴などを理解し、意見交換等を行います。

2 | 人材育成

① まちづくり専門家バンク

まちづくり専門家の派遣による住民主体のまちづくり支援を円滑に行うため、まちづくりに関する各分野の専門知識と住民団体等支援の実績のある専門家を登録しています。

- まちづくり専門家バンク登録者:46名(R7.4.1現在)



まちづくり専門家
バンク登録リスト



まちづくり専門家専門家会議

3. 修景助成、専門家派遣、景観形成等活動助成

1 景観形成支援事業

① 修景助成事業

景観形成地区*等の建築物などの景観形成に資する外観の整備に要する費用の一部を助成します。

- 歴史的景観形成建築物等修景助成
- 景観形成重点区域修景助成
- 一般建築物等修景助成
- 景観形成重要建築物等修景助成 ほか

※優れた景観を創造または保全する必要がある区域で県条例により指定された地区



修景前



修景助成による
外観整備の事例

修景後

② 専門家派遣事業

景観形成地区等での修景相談、住民団体による景観形成推進活動等の指導、地区や通り・街区などの景観整備計画の立案などに景観アドバイザー等の専門家を派遣します。

③ 景観支障建築物等除却・改修助成事業

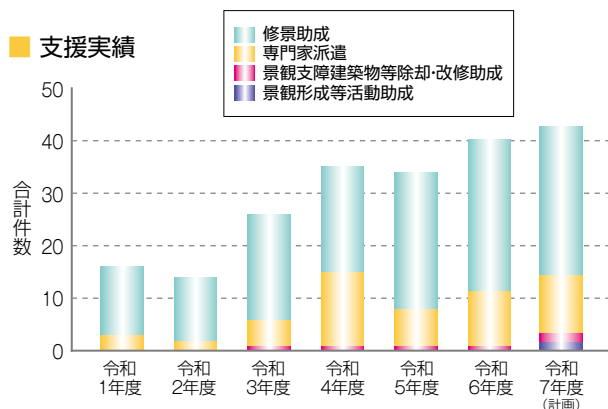
景観形成地区等で管理不全な状態のために周辺の良好な景観を阻害している物件について、除却または改修費の一部を助成します。

④ 景観形成等活動助成事業

地区住民団体や景観形成等推進員*による景観形成等推進活動に係る経費の一部を助成します。

※県が景観条例に基づき登録し、景観施策への協力や県民などによる景観形成等に関する活動を支援する者

支援実績



高砂市 高砂地区



丹波篠山市 城下町地区



神河町 中村・栗賀町地区



佐用町 平福地区



たつの市 龍野地区

2 人材育成

① 景観アドバイザーバンクの運営

景観形成地区において、地区の景観にふさわしい建物となるよう修景相談に応じるため、景観形成や町並み形成、伝統的建築物の知識・技術と経験を持った建築士を登録しています。

- 景観アドバイザーバンク登録者:77名(R7.4.1現在)

② 修景事例報告会

景観形成支援事業で派遣を行った事案について、派遣した専門家から報告をいただき、まちづくり専門家や行政担当者が支援事例を共有することにより、今後の支援の参考にしていただくことを目的に開催します。



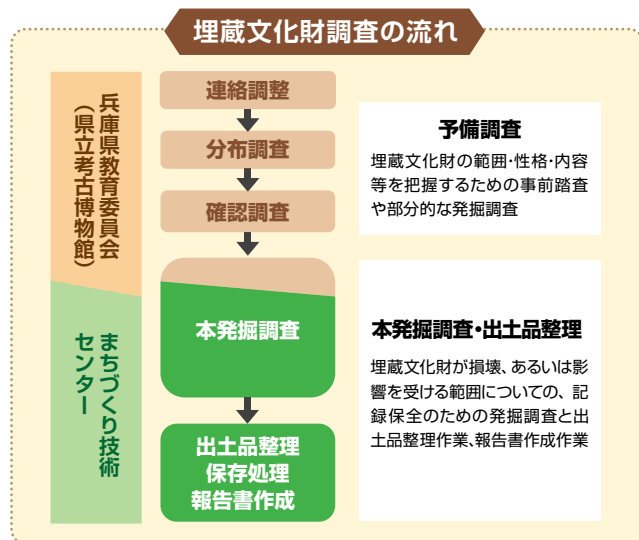
修景事例報告会(リモート開催)

1. 遺跡発掘調査

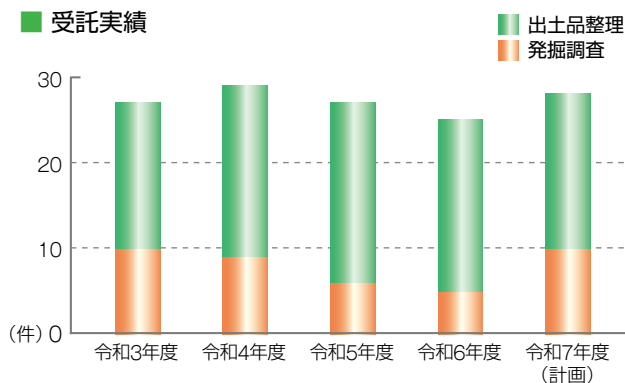
社会基盤整備事業に伴い現状保存できない遺跡の発掘調査を、兵庫県教育委員会から受託し、埋蔵文化財の保存と開発との調和に取り組んでいます。また、人材不足の市町教育委員会への支援も行っています。

1 県教育委員会からの受託事業

国・県等が行う開発事業に伴う遺跡について、県教育委員会から受託し、発掘調査を行っています。発掘調査は、やり直しがきかない作業であるため、細心の注意を払いながら、人力と機械を使い分けて効率よく実施しています。



池田山古墳(尼崎市)



2 市町教育委員会の支援

① 埋蔵文化財調査の支援

市町教育委員会等から発掘調査現場の運営・監理業務等を受託し、市町の埋蔵文化財調査の円滑な実施を支援しています。

② 研修等

発掘調査に係る実務能力の向上、新技術の習得等を図るため、市町教育委員会等の埋蔵文化財担当者を対象に研修を行っています。

また、県内の埋蔵文化財担当者による最新の発掘調査に関する成果や手法の発表および討議を行い、情報の共有化を図っています。



埋蔵文化財担当者研修

開発に伴う発掘調査の流れ

機械掘削

土質の変化に注意しながら、土器等の遺物が含まれる土層まで、大型機械で慎重に掘り下げます。



人力掘削

人力で、土器等の遺物を取り上げつつ、遺構が検出される面まで掘削した後、発見された遺構を掘り下げます。



発掘調査の記録

発見された遺構や遺物の状況を写真撮影するとともに、測量・実測等を行い、発掘調査の成果を記録として残します。調査範囲全体の平面図は空中写真測量で作成します。



2. 出土品整理

土器・石器・金属器・木器など、発掘した出土品（遺物）は多種多様ですが、これらは、長い期間土の中に埋まっていたため破損や劣化しています。

センターでは、県教育委員会の委託を受け、これらの出土品を接合・復元し、場合によっては保存のための理化学的な処理を施す出土品整理を行うとともに、発掘調査の成果を取りまとめた「発掘調査報告書」を作成しています。



明石城武家屋敷跡出土土器

出土品整理の流れ

接合・復元

壊れた状態で出土した土器等の破片をつなぎ合わせ、本来の形に戻します。



実測・トレース

出土品の形や特徴を観察して正確な図面を作成し、印刷用に清書します。



保存処理

金属器の錆落としや、木器の樹脂浸透等の処理を施し、出土品の劣化を防止します。



発掘調査報告書の作成

清書した各種の図面や遺構・遺物の写真等を編集して、発掘調査の記録や成果を報告書にまとめます。



3. 埋蔵文化財の公開と活用

県民の皆様へ、埋蔵文化財と埋蔵文化財調査への理解を深めていただくため、いろいろな取り組みを行っています。

1 発掘調査成果の公開

① 現地説明会の開催

発掘現場を体感する貴重な機会として、発掘作業の現地説明会を開催しています。



② 遺跡発掘体験の実施

自分の手で土器を掘り出す感動を体験してもらう機会として、一般の参加者が実際の遺跡で発掘作業を行う発掘体験を開催しています。



③ 発掘調査成果の速報展示

現地説明会の後、考古博物館等で出土品や写真等を用いた調査成果の速報展示を行っています。



④ 埋蔵文化財情報誌の発行

最新の発掘調査成果を、年に2回発行する埋蔵文化財情報誌「ひょうごの遺跡」で公開しています。

⑤ 発掘調査速報会の開催

発掘調査成果を調査担当者が写真等を用いて調査内容を説明する速報会を開催しています。



2 出土品整理の公開

(バックヤード見学ツアー)

考古博物館の来館者に出土品の整理作業を案内するツアーを行っています。



3 県立考古博物館との連携

考古博物館と連携し、各種イベント等を開催しています。



1. 技術情報の管理・提供、新技術の導入促進

1 | 各種システムの運営等

① 積算共同利用システム

積算業務の効率化・コスト削減を図るため、県・市町等が共同で利用する「兵庫県積算共同利用システム」の運営・管理及び積算基準データの作成・提供を行っています。

③ ひょうごの土木技術活用システム

県内で開発された技術の育成を目的に、県が運用する「ひょうごの土木技術活用システム」の運営・情報提供等を支援します。

② 社会基盤施設総合管理システム

県が運用する「社会基盤施設総合管理システム」に施設台帳や点検結果、位置情報を登録するほか、システム操作に関する問い合わせへの対応など、システム利用者への支援も行っています。

④ ポータルサイト「匠」

県・市町が活用する建設技術に関するデータベースサイトとして、県が運営するポータルサイト「匠」の維持管理を行い、行政の効率的な執行を支援しています。

2 | 技術顧問制度等による技術支援

県・市町からの建設技術、上下水道、まちづくり等に関する相談に対し、センターの技術力や情報を活用して、適切に回答・助言を行うほか、7名の技術者からなるセンター技術顧問に専門的な指導や助言を求めます。(P4参照)

3 | 技術情報誌の発行

社会基盤整備事業の紹介や技術情報を提供するセンター機関誌「CON-TECH ひょうご」を発行し、県・市町等の職員に配布しています。



4 | インフラツアー

県・市町と連携し、将来の土木技術を担う人材発掘のため、小中学生と保護者を対象に県内の公共土木施設等を紹介するほか、最新の土木技術を体感できるツアーを開催します。



夏休みインフラツアー
(湊川隧道)



阪神湾岸インフラツアー
(尼崎閘門【尼ロック】)

5 | デジタル技術等の積極的な活用

① ICT活用の促進と技術向上

ICT活用工事の工事監理業務を継続して受託するとともに、ICT化工事の知識向上を目指し、情報の収集と共有を図りながら、技術習得や活用に取り組めます。

③ センターDXの推進

AIを導入するとともに、現場立会時の写真やコメントを共有し、不備検知機能を実装した「工事監理業務支援ツール」、県・市町からの各種相談を一元的に受け付ける技術相談窓口「オンラインワンストップ窓口」の開設、また、スマートフォンを活用した「新技術路面性状調査」、更には、センターが主催する研修については、申込受付から修了書発行に至る事務を一元管理する「研修管理システム」の導入等、デジタル技術を積極的に活用することによりDXを推進します。

② 被災箇所調査システムの利用促進

現場から被災情報等をアップロードし、災害対策本部等とリアルタイムに情報を共有できる「被災箇所調査システム」について適切な運用を実施するとともに、利用者を拡大します。(利用料の市町負担はありません)



システムの利用状況

2. 災害時支援活動、災害緊急現場支援技術者講習

1 市町災害復旧支援制度 (D-SUPPORT)

支援対象:市町

大規模災害が発生した際に、「ひょうごE-DASH」*と「兵庫県防災エキスパート」が連携し、被災状況の把握や災害調査等を支援します。

さらに、市町からの要請に応じて、災害査定に向けた測量・設計業者等への技術指導や災害査定設計書作成等を受託します。



※ 市町の災害復旧事業の迅速かつ的確な実施を支援するため、センター職員で構成する緊急災害復旧支援派遣隊

2 兵庫県防災エキスパートの派遣

派遣対象:県・市町

県等の技術職OBからなる「兵庫県防災エキスパート登録制度」を運営し、大規模災害時には、災害復旧活動を迅速かつ円滑に進めるため、兵庫県防災エキスパートを県・市町に派遣し、公共土木施設の被災状況把握や被害状況調査をボランティアとしてサポートします。

● 登録者:124名(R7.4.1現在)

3 災害緊急現場支援技術者講習

県内の測量会社等の測量士が、災害発生時に県や市町が発注する「災害緊急設計図作成業務」を遂行するために必要な業務*に関する知識・技術を習得する講習会を開催し、災害緊急現場支援技術者の養成を行っています。

● 登録者:428名(R7.4.1現在)

● 修了証の有効期限は2年間

※ 現地踏査、測量、被災写真等の撮影・整理、災害査定に係る補助的作業および査定設計書に要する資料作成等

市町災害復旧支援制度 (D-SUPPORT) 活用の流れ



3. 育成支援制度等

1 市町建設事業担当職員育成制度

市町職員の実務能力向上のため、センターに市町職員を受け入れる長期研修を実施しています。

研修期間中は、センターにおいて積算・工事監理、橋梁老朽化対策等の実務を通じて、市町のニーズに応じた実務経験を積むほか、県内外で開催される研修会への参加や資格取得のバックアップなどをおこない、市町の建設・まちづくり行政を担う職員の技術力向上を支援します。

【対象職員】 建設事業の経験年数が5年程度以上

【受入期間】 原則2年間

【費用負担】 市町職員の人件費の1/2を負担

※ 経験年数、受入期間、勤務地、担当業務等については、市町のニーズに柔軟に対応します。

※ 制度経験者の話はこれから
(CON-TECHひょうご第60号掲載)



4. 階層別・専門分野別研修、OJTや職場研修を支援

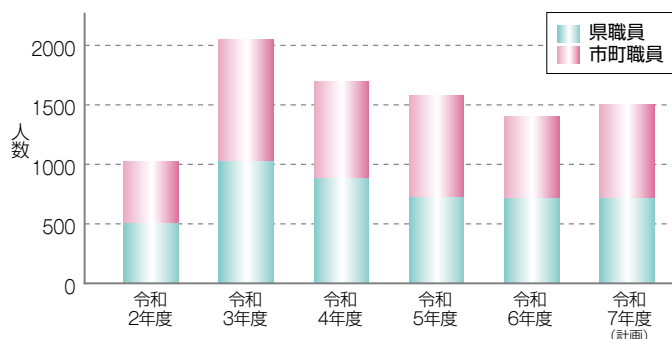
1 階層別・専門分野別研修

県・市町建設技術担当職員の技術力向上を図るため、職員の役職に応じたスキルを学ぶ「階層別研修」や構造物設計など分野毎の専門知識を学ぶ「専門分野別研修」を実施しています。

令和7年度は全36講座(受講者:約1,500人)を計画し、講義に加え実務に即した演習、実習を積極的に導入し開催します。

引き続き、対面研修の状況をライブ中継し職場等でもリアルタイムに受講できる「ハイブリッド研修」や、期間内の自由な時間に受講できる「オンデマンド研修」を効果的に組み合わせて実施します。

■ 階層別・専門分野別研修参加者数



※開催日時、開催方法、内容等については、研修案内またはホームページにてご確認ください。



市町新人初級研修(後期)



構造物設計演習(擁壁)

2 OJTや職場での研修を支援

研修テーマや内容に合わせ、豊富な経験と高い技術力を持つ“ひょうご土木技術マイスター”(県土木技術職OB)を講師として職場研修等に派遣します。

① OJT研修(県)

ひょうご土木技術マイスターによる砂防堰堤の設計から手書き製図までを行う「砂防OJT研修」、河川の流出量や流下能力の算定を行う「河川OJT研修」を行っています。



砂防OJT



河川OJT

② オーダーメイド型研修(市町)

令和2年度から、市町が取り組む研修にひょうご土木技術マイスターを講師として派遣する「オーダーメイド型研修」を行っています。

研修費用等について

- 各市町に講師を派遣します
- 講師の謝金・交通費等は、センターが全て負担しますので、**市町のご負担はありません**

※研修会場の確保と設営、資料の印刷、講師が研修で使用する機材等に係る費用のみ市町でご負担ください

研修内容について

研修内容は、各市町の意向に応じて、きめ細かく対応します

■ これまで事例(一例)

テーマ	時間	人数
指定仮設と任意仮設	2時間	10人
工事検査	1.5時間	17人
会計検査	2時間	19人
事例から学ぶ 工場のリスク管理	2.5時間	21人

※原則、センター主催の専門分野別研修と重複する内容は行いません。



その他の事例、
詳細はこちらから

ワンストップ相談窓口

設計に関すること

例えば

- ・トンネルの施工計画に困っている
- ・橋梁補修の工法に悩んでいる

インフラ老朽化対策に関すること

例えば

- ・橋梁・トンネル・上下水道施設等の維持管理方法に困っている
- ・点検方法、項目について悩んでいる

積算・工事監理に関すること

例えば

- ・トンネル、橋梁の積算・工事監理に困っている
- ・特殊工法の積算に悩んでいる
- ・マンホールポンプの積算に困っている

まちづくりに関すること

例えば

- ・地元関係者等の合意形成に困っている
- ・事業を立ち上げるまでの手順や対応が分からない

おまかせください

建設技術・上下水道・まちづくりに関する
質問や相談にお答えいたします。

問い合わせ
フォーム▼



[https://www.hyogo-ctc.or.jp/
contact/onestop_form/](https://www.hyogo-ctc.or.jp/contact/onestop_form/)



ホームページ



業務案内



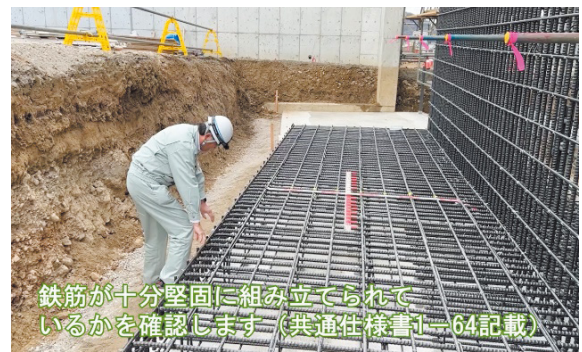
CON-TECH
ひょうご

施工解説動画

現場経験が少ない職員向けに施工管理のポイント等をまとめた解説動画を公開しています。



【第1弾】コンクリート構造物施工編 [R5.3公開]



【第2弾】配筋検査（基礎編） [R6.3公開]



【第3弾】道路土工（盛土工編） [R7.4公開]



視聴サイト
(掲載工種も
募集中!)



[https://www.hyogo-ctc.or.jp/
ctc/training/webken/explanation_site/](https://www.hyogo-ctc.or.jp/ctc/training/webken/explanation_site/)



公益財団法人

兵庫県まちづくり技術センター